



## 1-1 建物概要

建物名称	個人住宅	
竣工年月	2020年11月	竣工
建設地	横浜市南区中里二丁目	
用途地域	第一種低層住居専用地域	確定
省エネルギー地域区分	6地域	
構造・構法	木造	確定
階数	地上2階建	
敷地面積	148 m <sup>2</sup>	確定
建築面積	61 m <sup>2</sup>	確定
延床面積	119 m <sup>2</sup>	確定
世帯人数	3	確定

仕様等の確定状況	建物の仕様 持ち込み家電等 外構の仕様	確定 仮 一部確定
<備考>	家電製品は一部未定の段階での評価	
評価の実施日	2020年7月19日	
作成者	高部 誠也	
確認日	2020年7月19日	
確認者	山口 紗季	

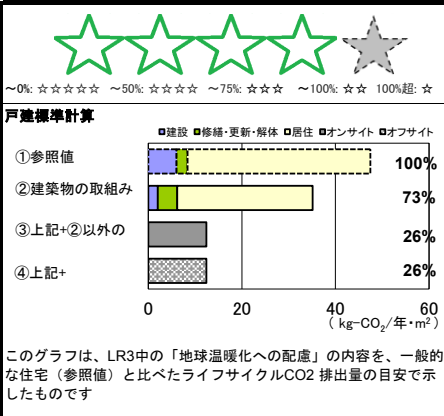
## 1-2 外観



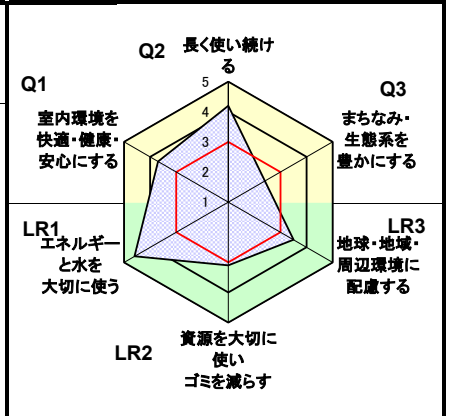
## 2-1 戸建の環境効率(BEEランク&チャート)



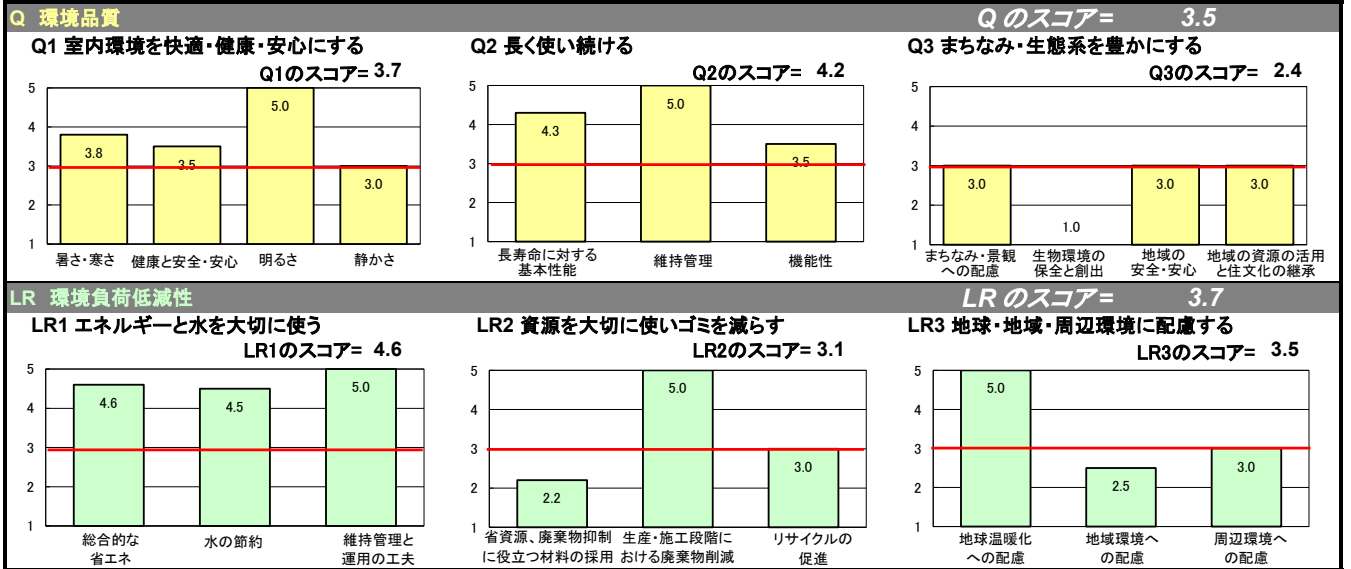
## 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)



## 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)



## 2-4 中項目の評価(バーチャート)



## 3 設計上の配慮事項

<b>総合</b> ●各居室の南側に大開口を設け、自然採光のとれる明るい居住空間を計画した ●外壁には陶板のものを採用し、自然素材の風合いを活かした住宅を計画した	<b>その他</b> 横浜市ZEH普及推進補助事業	
<b>Q1 室内環境を快適・健康・安心にする</b> ●断熱性能等級4を満たす断熱仕様による冷暖房負荷の低減 ●換気、通風、日射調整への配慮 ●室内の建材は全てホルムアルデヒド放散等級F☆☆☆☆A ●1階の開口部に防犯ガラスを設置	<b>Q2 長く使い続ける</b> ●地盤調査に基づき地盤補強を行い、安全な基礎方式を採用 ●耐震等級3を満たす堅牢な木造軸組工法の採用 ●長期優良住宅認定基準を満たす劣化対策を行い、構造躯体を高耐久化	<b>Q3 まちなみ・生態系を豊かにする</b> ●周辺の街並みへの配慮を考え、仕上げ舗装材や道路際の植栽を採用
<b>LR1 エネルギーと水を大切に使う</b> ●断熱性能等級4を満たす断熱仕様の採用に加え、5.1kWの太陽光発電装置を屋根に搭載 ●燃料電池の採用 ●照明ランプは施工持ち込み以外LEDを採用	<b>LR2 資源を大切に使いゴミを減らす</b> ●工場生産で発生する廃材の再資源化に取り組み、2002年から「単純焼却ゼロ・埋め立て処分ゼロ」のゼロエミッションを達成、リサイクルの質に配慮しながら維持・継続している ●解体・施工現場からの廃棄物はプレカット部材の採用や建設リサイクル法に基づいた再資源化を行うことで削減に努めている	<b>LR3 地球・地域・周辺環境に配慮する</b> ●道路際に樹木を設け、街並みにおける緑化に寄与

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (環境品質), L: Load (環境負荷), LR: Load Reduction (環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (環境効率)  
 ■CASBEE全体の表記ルールに従えば、CASBEE-戸建(新築)の場合、BEE<sub>H</sub>、Q<sub>H</sub>、LR<sub>H</sub>などとすべきであるが、本シート上では簡略化のためHを省略した  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは住宅の部材生産・建設から居住、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量であり、ここでは住宅の寿命年数と延床面積で除した値を示す  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q<sub>2</sub>、LR<sub>1</sub>中の住宅の寿命、省エネルギーなどの項目の評価結果から自動的に算出される(「戸建標準計算」の場合)  
 ■ライフサイクルCO<sub>2</sub>の算定条件等については、マニュアルおよび「CO<sub>2</sub>計算シート」を参照されたたい



## 4 横浜市重点項目についての環境配慮概要

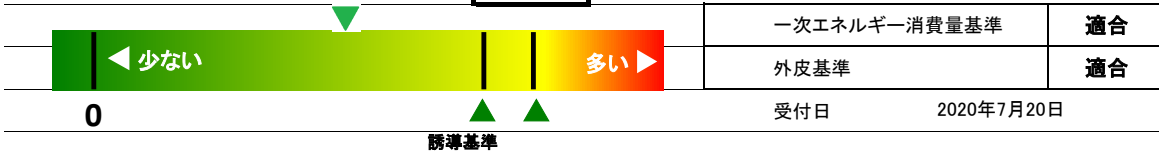
各項目について配慮した内容を、該当する番号(①~)を示し記述してください。

建物名称 **個人住宅**

### 建築物の省エネルギー性能 (E) Energy Saving 重点項目への取組(5点満点) 【省エネルギー性能】 **5**

■省エネルギー性能 (国土交通省告示に基づく表示)

この建物の設計一次エネルギー消費量 **43** %削減



■エネルギーを大切に使う (①建物の工夫 ②設備の性能 ③維持管理と運用)

①BEI=0.57

③パナソニック製HEMS AiSEG2を設置

### 健康・快適な職住環境 (W) Smart Wellness Community 重点項目への取組(5点満点) 【健康・安心】 **4**

■室内環境対策 (④暑さ・寒さ)

◆断熱等性能等級 等級4 (相当)

■室内環境を快適・健康・安心にする (⑤健康と安全・安心)

⑤主要な居室において適切な冷房計画を行い、ホルムアルデヒド対策等級3を満たしている

■その他の対策 (⑥自然材料・通風の工夫など)

◆工夫の有無 なし

### 防災への配慮 (R) Resilience 重点項目への取組(5点満点) 【防 災】 **5**

■災害に備える (⑦災害に備える ⑧長寿命に対する基本性能 ⑨地域の安全・安心)

⑦燃料電池と太陽光発電の設置

⑧日本住宅性能表示基準「3-1 劣化対策等級3」を満たす

### 地域・まちづくりへの貢献 (T) Township & Townscape 重点項目への取組(5点満点) 【地域・まちづくり】 **2**

■まちなみ・生態系を豊かにする (⑩まちなみ・景観への配慮 ⑪生物環境の創出)

太陽光発電などの導入



太陽光利用

エネルギーマネジメントシステム導入

HEMS

環境配慮技術の導入

(太陽光・熱利用、エネルギーマネジメントシステム以外)

燃料電池 ・ コージェネレーション ・

蓄電池 ・



CASBEE横浜[戸建] (2017年版)  
個人住宅

バージョン : CASBEE横浜[戸建]2017年版v.1.4

スコアシート				
配慮項目	重点項目	評価点	重み係数	全体
<b>QH</b> すまいの環境品質		-	-	<b>3.5</b>
<b>QH1</b> 室内環境を快適・健康・安心にする		-	0.45	<b>3.7</b>
<b>1</b> 暑さ・寒さ		<b>3.8</b>	0.50	<b>3.8</b>
1.1 基本性能		<b>4.2</b>	0.50	-
1 断熱等性能の確保	健康・安心 ④暑さ・寒さ	5.0	0.80	-
2 日射の調整機能	健康・安心 ④暑さ・寒さ	1.0	0.20	-
1.2 夏の暑さを防ぐ		<b>4.0</b>	0.25	-
1 風を取り込み、熱気を逃がす		5.0	0.50	-
2 適切な冷房計画		3.0	0.50	-
1.3 冬の寒さを防ぐ		<b>3.0</b>	0.25	-
1 適切な暖房計画		3.0	1.00	-
<b>2</b> 健康と安全・安心		<b>3.5</b>	0.30	<b>3.5</b>
2.1 化学汚染物質の対策	健康・安心 ⑤健康と安全・安心	5.0	0.25	-
2.2 適切な換気計画	健康・安心 ⑤健康と安全・安心	3.0	0.25	-
2.3 犯罪に備える	健康・安心 ⑤健康と安全・安心	1.0	0.25	-
2.4 災害に備える	防災 ⑦災害に備える	5.0	0.25	-
<b>3</b> 明るさ		<b>5.0</b>	0.10	<b>5.0</b>
3.1 屋光の利用		5.0	1.00	-
<b>4</b> 静かさ		<b>3.0</b>	0.10	<b>3.0</b>
<b>QH2</b> 長く使い続ける		-	0.30	<b>4.2</b>
<b>1</b> 長寿命に対する基本性能		<b>4.3</b>	0.50	<b>4.3</b>
1.1 躯体	防災 ⑧長寿命に対する基本性能	5.0	0.30	-
1.2 外壁材		3.0	0.10	-
1.3 屋根材・陸屋根		3.0	0.10	-
1.4 自然災害に耐える	防災 ⑧長寿命に対する基本性能	5.0	0.30	-
1.5 火災に備える		<b>3.7</b>	0.20	-
1 火災に耐える構造		3.0	0.65	-
2 火災の早期感知		5.0	0.35	-
<b>2</b> 維持管理		<b>5.0</b>	0.25	<b>5.0</b>
2.1 維持管理のしやすさ		5.0	0.65	-
2.2 維持管理の計画・体制		5.0	0.35	-
<b>3</b> 機能性		<b>3.5</b>	0.25	<b>3.5</b>
3.1 広さと間取り		5.0	0.50	-
3.2 バリアフリー対応		2.0	0.50	-
<b>QH3</b> まちなみ・生態系を豊かにする		-	0.25	<b>2.4</b>
<b>1</b> まちなみ・景観への配慮	地域・まちづくり ⑩まちなみ・景観への配慮	3.0	0.30	3.0
<b>2</b> 生物環境の創出		<b>1.0</b>	0.30	<b>1.0</b>
2.1 敷地内の緑化	地域・まちづくり ⑪生物環境の創出	1.0	0.65	-
2.2 生物の生息環境の確保	地域・まちづくり ⑪生物環境の創出	1.0	0.35	-
<b>3</b> 地域の安全・安心	防災 ⑨地域の安全・安心	3.0	0.20	3.0
<b>4</b> 地域の資源の活用と住文化の継承		3.0	0.20	3.0
<b>LRH</b> すまいの環境負荷低減性		-	-	<b>3.7</b>
<b>LRH1</b> エネルギーと水を大切に使う		-	0.35	<b>4.6</b>
<b>1</b> 総合的な省エネ		<b>4.6</b>	0.75	<b>4.6</b>
1.1 躯体と設備による省エネ	省エネルギー性能 ①建物の工夫	5.0	0.90	-
1.2 家電・厨房機器による省エネ	省エネルギー性能 ②設備の性能	1.0	0.10	-
<b>2</b> 水の節約		<b>4.5</b>	0.15	<b>4.5</b>
2.1 節水型設備		5.0	0.75	-
2.2 雨水の利用		3.0	0.25	-
<b>3</b> 維持管理と運用の工夫		<b>5.0</b>	0.10	<b>5.0</b>
3.1 住まい方の提示	省エネルギー性能 ③維持管理と運用	5.0	0.50	-
3.2 エネルギーの管理と制御	省エネルギー性能 ③維持管理と運用	5.0	0.50	-
<b>LRH2</b> 資源を大切に使いゴミを減らす		-	0.35	<b>3.1</b>
<b>1</b> 省資源、廃棄物抑制に役立つ材料の採用		<b>2.2</b>	0.60	<b>2.2</b>
1.1 構造躯体		<b>3.0</b>	0.30	-
1 木質系住宅		3.0	1.00	-
2 鉄骨系住宅		3.0	-	-
3 コンクリート系住宅		3.0	-	-
1.2 地盤補強材・地業・基礎		3.0	0.20	-
1.3 外装材		1.0	0.20	-
1.4 内装材		1.0	0.20	-
1.5 外構材		3.0	0.10	-
<b>2</b> 生産・施工段階における廃棄物削減		<b>5.0</b>	0.30	<b>5.0</b>
2.1 生産段階(構造躯体用部材)		5.0	0.33	-
2.2 生産段階(構造躯体用以外の部材)		5.0	0.33	-
2.3 施工段階		5.0	0.33	-
<b>3</b> リサイクルの促進		<b>3.0</b>	0.10	<b>3.0</b>
3.1 使用材料の情報提供		3.0	1.00	-
<b>LRH3</b> 地球・地域・周辺環境に配慮する		-	0.30	<b>3.5</b>
<b>1</b> 地球温暖化への配慮		<b>5.0</b>	0.33	<b>5.0</b>
<b>2</b> 地域環境への配慮		<b>2.5</b>	0.33	<b>2.5</b>
2.1 地域インフラの負荷抑制		2.0	0.50	-
2.2 既存の自然環境の保全		3.0	0.50	-
<b>3</b> 周辺環境への配慮		<b>3.0</b>	0.33	<b>3.0</b>
3.1 騒音・振動・排気・排熱の低減		3.0	0.50	-
3.2 周辺温熱環境の改善		3.0	0.50	-